

令和7年11月7日

琉球大学病院
病院長 鈴木 幹男殿

沖縄県がん診療連携協議会
小児・AYA部会長 浜田 聡

病棟における学齢期入院患者への Wi-Fi 無料開放について（要望）

拝啓 平素より、がん診療および小児・AYA世代の患者支援に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、教育におけるICT（情報通信技術）の活用は、学びの多様化が進む現代において、ますます重要なテーマとなっております。文部科学省のGIGAスクール構想においても、「すべての子どもたちに、個別最適で協働的な学びを実現するためのICT環境の整備は必要不可欠である」と明記されており、特に病気療養中の児童生徒や特別な支援を要する子どもたちにとって、ICTはまさに「学びの格差を埋める鍵」であるとされています。

沖縄県内においても、院内学級の教育環境整備が進められており、現在8か所の病院内学級には専用のインターネット回線が敷設されています。また、琉球大学病院や沖縄県立南部医療センター・こども医療センターなどの基幹病院では、院内学級にWi-Fi環境が整備されています。

しかしながら、院内学級から離れた病室やクリーンルーム等においては、Wi-Fi電波が届きにくく、学習活動に支障を来している状況が見受けられます。モバイルWi-Fi（持ち運び可能な端末）を利用するケースもありますが、台数の制限や電波状況により、安定的なインターネット接続が難しい場合も少なくありません。

そこで、小児およびAYA世代のがん患者を多く診療している主要3病院（琉球大学病院、沖縄県立中部病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター）の現状を調査したところ、琉球大学病院のみがWi-Fi利用を有料としていることが確認されました。

つきましては、入院中の学齢期の子どもたちが安心して学びを継続できるよう、貴院におかれましても下記のとおり病棟内でのWi-Fiの無料開放について、前向きにご検討賜りますようお願い申し上げます。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

1. 対象

入院中の学齢期（小学校1年生～高校3年生）の患者および、その学習を支援する教員・教育関係者

2. お願いする事項

学習目的に限ったWi-Fi利用の無料化

具体的には以下の用途を想定しております。

- ・オンライン授業への参加
- ・リモートによる学習支援
- ・オンライン教材を用いた自主学習 等

なお、通信トラフィックの負荷軽減やセキュリティ、夜間利用防止の観点から、利用時間帯を制限する運用（例：9:00～16:00）を設定していただいても差し支えございません。